

・主要施策, 事務事業

平成30年度(2018年度)子ども未来部運営方針(年度評価)

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 子どもの育成支援			
◆ 子どもにかかわる施策推進の柱となる函館市子ども条例の施行を踏まえ、市民等に向け条例の広報・啓発に努めるとともに、全ての大人が相互に協力・連携しながら、子どもが健やかに成長でき、安心して子育てができるまちづくりの推進に努めます。	子ども企画課	B	・ 子ども条例の概要がデザインされたフラットファイルやマザーズ・サポート・バッグを配付し、子どもから大人まで幅広く広報・啓発を行った。
◆ 函館市子ども・子育て会議の開催などにより、「函館市子ども・子育て支援事業計画」の適切な進行管理を行います。	子ども企画課	B	・ 子ども・子育て会議を11月に開催し、計画の進行管理を行った。
◆ 子ども・子育て支援新制度の円滑な推進に努めます。	子ども企画課ほか	B	・ 新制度に移行した幼稚園、保育所、認定こども園を利用する際に必要な保護者による施設型給付に係る支給認定手続きの円滑な事務処理に努めるとともに、当該幼稚園等に対する施設型給付について適切に実施した。 ・ 一時預かり事業や延長保育事業のほか、地域子育て支援拠点事業（子育てサロン）やファミリー・サポート・センター事業、子育て短期支援事業（ショートステイ）、トワイライトステイ事業等の地域子ども・子育て支援事業について適切に実施した。
◆ 子どもの生活実態調査の結果を参考とし、関係部局と連携しながら、子どもの貧困対策を検討・推進します。	子ども企画課ほか	B	・ ひとり親家庭の就業支援策を検討するなど、関係部局と連携して子どもの貧困対策に取り組んだ。
◆ 「公立保育園後期民営化計画」に基づき、取り組みを推進します。	子どもサービス課	B	・ 平成31年3月31日をもって湯浜保育園を閉園し、在園児やその保護者に対して、転園に伴う負担軽減のための対応を行った。
◆ 遊びやスポーツを通じて子どもの健全な育成を図るとともに、地域における子育て支援を行うため、児童館活動の充実に努めます。	次世代育成課	B	・ 各種教室を通じ、子どもの発達の増進を図ったほか、乳幼児と保護者が自由に遊び、交流できる場を設け、子育て支援を行うとともに、各種行事を通じた地域の子育て力の向上を図った。
◆ 児童館の老朽化への対応を進め、金堀小学校敷地内に新たに整備する統合児童館の実施設計を行うほか、指定管理者制度を導入している児童館については、指定管理者との情報交換に努めます。	次世代育成課	B	・ 公共施設等への併設、移転についての検討や統合児童館の実施設計を行ったほか、指定管理児童館と合同で児童館関係職員の研修を実施し、利用者サービスの向上に努めた。
◆ 放課後の子どもの安全な居場所づくりを推進するため、児童館の適切な運営および放課後児童健全育成事業(学童保育所)や放課後子ども教室推進事業の実施など、子どもたちの放課後の居場所に関わる事業について、より効果的な展開を図るため、それぞれのあり方を含め総合的に検討します。	次世代育成課	B	・ 児童館の適切な運営に努めるとともに、放課後児童健全育成事業や放課後子ども教室推進事業を適切に実施した。 ・ ボランティアの確保等を図りながら各事業を実施したが、事業の実施にあたりそれぞれに課題があることから、学校再編の状況を注視しながら今後もそのあり方について総合的に検討していくこととした。
◆ 児童虐待の早期発見と未然防止に向け、要保護児童対策の充実に図り、関係機関と連携した各種取り組みを行います。	次世代育成課	B	・ 子どもなんでも相談110番フリーダイヤル(子ども専用電話)の周知カードを市内小中高の児童生徒に配布し周知を図るなど、子ども自らが相談しやすい体制の強化を図った。 ・ 要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関による連携のもと、要保護児童等に対する適切な支援を行った。 ・ 児童虐待の未然防止のため、マニュアルを作成・配布したほか、ホームページへの掲載など周知の徹底を図った。
◆ 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えていくため、市民との協働による子育て支援の仕組みづくりを進めます。	次世代育成課	B	・ 市内の子育て関連の団体で構成する「子育て支援ネットワーク」主催の第9回子育てネットらんど「ワイワイ楽しく親子DEスマイル」を開催した。 ・ 子育てアドバイザーのスキルアップを目的に研修会を開催した。 ・ 市の事業をはじめとする様々な事業へ子育てアドバイザーを派遣した。
◆ 子どもたちが働くことの楽しさなどを学ぶ職業体験イベント「はこだてキッズタウン」を市民協働で開催します。	次世代育成課	B	・ 25企業・団体の協力のもと、「はこだてキッズタウン」を開催し、様々な仕事の体験を通じて社会の仕組みを学ぶ機会を設けた。

・主要施策, 事務事業

平成30年度(2018年度)子ども未来部運営方針(年度評価)

区 分	担当課	評価	評価の説明
<p>2 子育て家庭に対する経済的支援</p> <p>◆ 児童手当等各種手当や入学準備給付金の支給, 子ども医療費助成, 無利子による奨学金の貸与, 学童保育所利用料の軽減, ひとり親家庭に対する高卒程度認定試験対策講座受講費用の助成等に加え, 返済を必要としない奨学金の給付を行うなど, 子育て世代に対する経済的支援の充実に努めます。</p>	<p>子ども企画課 子どもサービス課 子育て支援課 次世代育成課</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 従来から支給している児童手当等各種手当のほか, 入学準備給付金の支給や学童保育所利用料の軽減を実施し, 保護者の経済的負担の軽減を図った。 保育料については, 年収640万円未満相当の世帯における3歳未満の第2子以降を無料とするほか, 未婚のひとり親家庭の経済的負担の軽減を図った。 児童手当等の支給, 子ども医療費等の助成により保護者の経済的負担の軽減を図った。
<p>3 幼稚園, 保育所, 認定こども園および学童保育所等に対する相談・支援の充実</p> <p>◆ 幼稚園, 保育所, 認定こども園および学童保育所等に対する相談・支援の充実に努めます。</p>	<p>子どもサービス課 次世代育成課</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園等事業者の子ども・子育て支援新制度への理解を深めるため, 説明会を開催した。 ブロック塀撤去などの安全対策のほか, 老朽化した幼稚園の改築に対する補助を行った。 学童保育所にに関わり, 指導員のキャリアアップに対する委託料を加算したほか, 随時相談に対応した。
<p>4 DVおよび性暴力被害者への支援</p> <p>◆ 配偶者暴力相談支援センターでの支援を推進するとともに, 関係機関と連携し, DV被害者を支援します。</p> <p>◆ 平成30年4月に運用を開始した「函館・道南SART」の仕組みを活用し「函館性暴力被害防止対策協議会」の関係機関等と連携し, 性暴力被害者を支援するほか, 性暴力の防止に関する教育および啓発活動を行います。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>子育て支援課</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者暴力相談支援センターにおいてDV証明発行を行ったほか, 「函館市配偶者等からの暴力対策関係機関協議会」代表者会議を開催し, 関係機関の連携強化を図るなど被害者支援に取り組んだ。 「函館・道南SART」を活用した地域の性暴力被害者支援に取り組んだほか, 性暴力被害防止に関わる講演会や研修会の開催を通じて教育, 啓発に取り組んだ。
<p>5 母子保健の推進</p> <p>◆ 「マザーズ・サポート・ステーション」を「子育て世代包括支援センター」として位置付け, 更なる相談支援体制の強化を図るとともに, 特定不妊治療や不育症治療に対する助成, 産後うつ等の予防に向けた産婦健康診査や宿泊型産後ケア事業の実施など, 出産前から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実に図り, 子育て世代が抱える経済的・心理的な負担の軽減に努めます。</p> <p>◆ 「こんにちは赤ちゃん事業」や乳幼児家庭訪問, 医療機関との連携などにより, 育児に関する情報提供や健康相談を通じて, 母親の育児不安等の軽減と子どもの健全育成を図ります。</p> <p>◆ 乳幼児健康診査により乳幼児期の疾病や障がいやを早期に発見し, 適切な療育に結びつけるとともに, 未受診者の状況把握を徹底し, 母親等への子育て支援に努めます。</p> <p>◆ 思春期の心と体の健康づくりのため, 保健・医療・教育等関係機関との連携を強化し, 思春期の子どもたちへの保健対策を充実します。</p> <p>◆ 子どもを対象とした定期予防接種の接種率の向上に努め, ワクチンで防ぐことができる感染症から子どもたちを守ります。</p>	<p>母子保健課</p> <p>母子保健課</p> <p>母子保健課</p> <p>母子保健課</p> <p>母子保健課</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「マザーズ・サポート・ステーション」を「子育て世代包括支援センター」に位置付け, 専任相談員を増員して個別支援プランを作成する等, 出産前から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制の強化を図った。 「産婦健康診査」の実施や「宿泊型産後ケア事業」の利用施設の拡充などにより, 産後うつを予防し, ハイリスクの方を早期に発見できる支援体制の充実に努めることができた。 「こんにちは赤ちゃん事業」による訪問等は, ほぼ全戸に実施できた。 母子支援連絡システムによる医療機関との連携により, 支援が必要な妊産婦や乳幼児を早期に把握する体制を整備し, 適切な支援に努めた。 乳幼児健診は, 疾病や異常の早期発見にとどまらず, 貴重な育児支援の場となっていることから, 効果的・効率的な健診体制を検討し, 受診率の向上に努めるとともに, 乳幼児健診未受診児の状況確認を適宜行い, 適切な支援に努めた。 思春期保健連絡会を定期的に開催して医療機関や教育関係者と思春期保健に係る問題意識を共有し, 中学生を対象とした「思春期教室」や市民向けの「思春期保健講演会」等, 各種保健事業を実施した。 個別通知による積極的勧奨や乳幼児健診時の未接種者への勧奨等, きめ細かな周知により, 高い接種率を維持することができた。 受託医療機関を拡大し, 接種機会を得やすい環境を整備することができた。

区 分	担当課	評価	評価の説明																																								
<p>6 歳入金の公平・公正な徴収</p> <p>◆ 保育所入所負担金や奨学金・入学準備金など、歳入金の公平・公正な徴収に努めます。</p>	<p>子どもサービス課 子ども企画課 子育て支援課</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未収金対策として催告および差押えを実施した。 ・ 特に保育所入所負担金については、滞納者に催告書を送付し分割納付に結び付けるとともに、分割納付に応じない者に対して差押えを実施するなど、債権管理の強化を図った。 <p>平成30年度収納率</p> <table border="1"> <tr> <td>(保育所入所負担金)</td> <td>現年度分</td> <td>95.5%</td> <td>(当初目標</td> <td>96.0%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>過年度分</td> <td>16.7%</td> <td>(当初目標</td> <td>15.0%)</td> </tr> <tr> <td>(奨学金)</td> <td>現年度分</td> <td>86.4%</td> <td>(当初目標</td> <td>83.0%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>過年度分</td> <td>17.9%</td> <td>(当初目標</td> <td>15.5%)</td> </tr> <tr> <td>(入学準備金)</td> <td>現年度分</td> <td>90.4%</td> <td>(当初目標</td> <td>92.8%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>過年度分</td> <td>15.2%</td> <td>(当初目標</td> <td>10.8%)</td> </tr> <tr> <td>(母子父子寡婦特会)</td> <td>現年度分</td> <td>73.7%</td> <td>(当初目標</td> <td>75.9%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>過年度分</td> <td>8.8%</td> <td>(当初目標</td> <td>9.1%)</td> </tr> </table>	(保育所入所負担金)	現年度分	95.5%	(当初目標	96.0%)		過年度分	16.7%	(当初目標	15.0%)	(奨学金)	現年度分	86.4%	(当初目標	83.0%)		過年度分	17.9%	(当初目標	15.5%)	(入学準備金)	現年度分	90.4%	(当初目標	92.8%)		過年度分	15.2%	(当初目標	10.8%)	(母子父子寡婦特会)	現年度分	73.7%	(当初目標	75.9%)		過年度分	8.8%	(当初目標	9.1%)
(保育所入所負担金)	現年度分	95.5%	(当初目標	96.0%)																																							
	過年度分	16.7%	(当初目標	15.0%)																																							
(奨学金)	現年度分	86.4%	(当初目標	83.0%)																																							
	過年度分	17.9%	(当初目標	15.5%)																																							
(入学準備金)	現年度分	90.4%	(当初目標	92.8%)																																							
	過年度分	15.2%	(当初目標	10.8%)																																							
(母子父子寡婦特会)	現年度分	73.7%	(当初目標	75.9%)																																							
	過年度分	8.8%	(当初目標	9.1%)																																							